

報道関係者各位

2025年11月19日  
大阪府泉佐野市  
株式会社マーケットエンタープライズ

## 大阪府泉佐野市が不要品リユース事業で

「おいくら」と連携を開始

～リユース新施策導入による廃棄物削減へ～

大阪府泉佐野市(市長:千代松 大耕)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、2025年11月19日(水)より連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、泉佐野市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



### ■背景・経緯

泉佐野市では、不要品譲渡に関する情報を掲載するなどSDGsに向けた取組を行なってまいりました。しかしながら、ごみ処理費用の負担増加に加え、ごみとして排出された不要品の中にリユース可能なものが多く含まれていることを課題と感じており、市民に向けたリユース活動の周知・啓発につながる新たなリユース施策導入を検討していました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えたSDGsへの取組に注力していました。そうした中で、マーケットエンタープライズが泉佐野市に働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1を用いた今回の取組が実現いたしました。

#### ※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リユースショップに一括査定依頼され、買取価格・日時・買取方法・口コミなどを見て比較することができます。一度の依頼だけで不要品の査定結果をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 155 万人(2025 年 6 月末日)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト: <https://oikura.jp/>

#### ■泉佐野市の課題と「おいくら」による解決策

泉佐野市では、事前申請による有料戸別収集及び自己搬入にて粗大ごみの収集を行なっておりましたが、大型品や重量のあるものでも、市民が自宅の外へ運び出す必要があります。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し、運び出しまで対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも売却が容易にできるようになります。加えて、市では回収していない冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も、まだ使えるものであれば買取できる可能性があり、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。なお、市民のサービス利用はもちろん、市の費用負担もありません。

#### ■今後について

11月19日(水)15時30分(公開時間が前後する可能性があります)に泉佐野市ホームページ内([https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/seikatsu/kankyo/menu/gomi/gomi\\_katei/1438582381136.html](https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/seikatsu/kankyo/menu/gomi/gomi_katei/1438582381136.html))へ「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。泉佐野市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という形で簡単に不要品リユースができるなどを市民が認知することで、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

#### ■大阪府泉佐野市

泉佐野市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、背後に一部が金剛生駒紀泉国定公園に指定された和泉山脈を擁し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。商・工・農・漁業がそれぞれバランスよく栄えてきましたが、関西国際空港の開港などに伴う人口の増加とともに、商業・サービス業が盛んになっています。瀬戸内式気候に属するため気候は温暖で、比較的少ない降水量となっています。名前の由来は、中世以来の村名「佐野」に旧国名和泉を冠したもので、伝承では「狭い原野」ということから「狭野」というようになり、それが転じて「佐野」とよばれるようになったといわれています。1948年4月1日、佐野町の市制施行により泉佐野市が誕生し、1954年、南中通村、日根野村、長滝村、上之郷村、大土村の5か村が合併し、現在の市域が形成されています。1994年9月に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取組んでいます。

人口: 99,585 人(男性 47,741 人、女性 51,844 人)(2025 年 9 月 30 日)

世帯数: 51,418 世帯(2025 年 9 月 30 日)

面積: 56.51 平方キロメートル(2025 年 9 月 30 日)

ウェブサイト: <https://www.city.izumisano.lg.jp/>

## ■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、モバイル通信事業や情報メディアの運営などその他複数の事業を展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ940万人を達成しました。泉佐野市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で286にのぼります。

「おいくら」自治体向け ウェブサイト: <https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト: <https://www.marketenterprise.co.jp/>

## 【報道関係者からのお問合せ先】

泉佐野市に関すること

泉佐野市 生活産業部 環境衛生課

担当: 峰

Tel: 072-429-9289 Mail: [kankyou6@city.izumisano.lg.jp](mailto:kankyou6@city.izumisano.lg.jp)

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR 担当: 橋本

Tel: 03-6675-3923 Mail: [pr@marketenterprise.co.jp](mailto:pr@marketenterprise.co.jp)